

# 記入例

※整理番号  
※受付年月日 令和 . .

## 監護相当・生計費の負担についての確認書

平成16年4月2日から平成20年4月1日生まれの子について記入してください。  
令和8年6月1日時点の状況について記入してください。

世話をし、かつ、その生計費を負担していること（以下「監護相当・生計費の負担」という。）を下記のとおり申し立てます。  
申立てが真正であることの証明を求められた場合は、関係する書類を提出します。

注 18歳に達する日以後の最初の3月31日を経過した後から22歳に達する日以後の最初の3月31日までの間にある者のうち、施設等に入所している者については、「監護相当の状況」と「生計費の負担の状況」の両方について、該当する項目に○をつけてください。どちらか片方でも○印の記載がない場合は、多子加算の対象にはなりません。

住民票上の住所を記入してください。(実態が別居でも住民票上同居の場合は同居の住所を記入してください。)

「監護相当の状況」と「生計費の負担の状況」の両方について、該当する項目に○をつけてください。どちらか片方でも○印の記載がない場合は、多子加算の対象にはなりません。

1	ふりがな 氏名	生年月日	住所
	みはま じろう 美浜 次郎	平成 16 年 4 月 2 日 令和	美浜町河和北田面106
2	ふりがな 氏名	生年月日	住所
	みはま さぶろう 美浜 三郎	平成 18 年 3 月 31 日 令和	同上

  

個人番号	続柄	職業等 (いずれかに○) ※	通学先 (学生の場合のみ)	卒業予定時期 (学生の場合のみ)	申立人による監護相当の状況 (いずれかに○)	申立人による生計費の負担の状況 (該当するものすべてに○)
1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 0 1	子	学生	〇〇大学	令和 9 年 3 月	1.同居し、日常生活上の世話・必要な保護をしている 2.別居しているが、定期的な連絡・面会等をしており、監護相当である 3.その他 ( )	1.生活費 (食費、家賃等) 2.学費 3.その他 ( )
1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 0 2	子	学生 ・ 無職 ・ その他		令和 年 月	1.同居し、日常生活上の世話・必要な保護をしている 2.別居しているが、定期的な連絡・面会等をしており、監護相当である 3.その他 ( )	1.生活費 (食費、家賃等) 2.学費 3.その他 ( )

就職している場合、食費・家賃等の負担をその子自身が全て背負うと、通常の生活水準を維持できない場合を、生活費の負担をしている状況とします。

監護相当の支援をしている子が、就職している場合、「その他」に○をつけてください。

- 1.大学生年代のお子さんが就職し、収入がある場合でも主たる生計維持者(請求者)が生活費の相当部分を負担していれば養育しているものとみなします。
- 2.本確認書は、生計費の相当部分を負担している大学生年代のお子さん(本確認書のお子さん)を含めて、合計3人以上のお子さんを監護・養育している方のみ、提出が必要です。それ以外の方については、児童手当の支給額(第3子以降の加算額)に影響はないため、本確認書の提出は不要です。

※ 3.確認書の内容に変更が生じた場合(未定であったものが確定した場合を含む)、改めて確認書の提出が必要になります。

記載内容について上記のとおり相違ありません。

令和 ○年 ○月 ○日

【申立人】(児童手当の請求者・受給者)  
住所 美浜町河和北田面106  
氏名 美浜 太郎